

様式第2号（第5条関係）

令和7年8月27日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員 堀文彦



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 令和7年7月29日～令和7年7月31日
- 2 旅行先 東京都
- 3 目 的 社会保障の基礎と実践
- 4 関係書類 別紙のとおり



社会保障制度と 質問のポイント

7月30日(水) in 東京

同時開催！
オンラインセミナー



講師：大山 典宏

【明治大学専門職大学院ガバナンス研究科
(公共政策大学院) 専任教授】

1974年生まれ。専門は、社会福祉政策、貧困に対する支援。社会福祉士、精神保健福祉士。立教大学大学院コミュニティ福祉学研究科博士後期課程修了(コミュニティ福祉学博士)。志木市役所職員、埼玉県庁職員、高千穂大学准教授、同教授を経て現職。杉並区子ども・子育て会議会長、内閣府子どもの貧困対策に関する検討会構成員(オブザーバー)など、貧困問題の専門家として幅広い活動を続けている。著書に、『精選生活保護運用実例集』(編著・第一法規出版)、『生活保護vsワーキングプア』『生活保護vs子どもの貧困』(PHP新書)、『隠された貧困』(扶桑社新書)など。

◆10:00 ~ 13:00

社会保障の基礎と実践：ゲームで理解する制度の仕組み

- 1.政治不信に直結する社会保障制度
- 2.そもそも社会保障とは何だろう
- 3.地方議会にしかできない社会保障へのアプローチ
- 4.注目される「社会保障×教育」
- 5.ケーススタディ：知らなかったから、諦めた。知っていれば、つかめた未来。
- 6.社会保障ゲームを体感してみよう

◆14:00 ~ 17:00

メディアが注目する、行政職員が唸る質問をするコツ：社会福祉を軸に考える

- 1.行政職員からみた「嬉しい質問」「厳しい質問」
- 2.社会福祉分野における主要テーマを概観する
- 3.「誰が答弁を書いているのか」を知っていますか
- 4.メディアが注目する、行政職員が唸る質問をするコツ
- 5.ケーススタディ：地方議会とメディアが行政を変えた瞬間
- 6.現役議員が語る「大学院の学びを生かした一般質問」

(株)廣瀬行政研究所

日 時	令和7年7月30日（水） 10:00～17:00
研修先	東京都豊島区東池袋1-20-10 としま区民センター
研修事項	【社会保障の基礎と実践】 （1）ゲームで理解する制度の仕組み （2）社会福祉を軸に一般質問をするコツ
主催者	一般社団法人地方公共団体政策支援機構
1. 研修目的	（1）「社会保障制度」について深く学び、困窮者に対する社会保障の実行が行えるよう、町民益に資するために、栗山町の政策提言に寄与する
2. 研修内容	（1）講義①「ゲームで理解する制度の仕組み」 明治大学専門職大学院ガバナ会研究科 大山典宏 氏 演習①「架空のキャラクターに起きるピンチを通して『社会保障制度』を学ぶ、社会保障ゲーム」 NPO法人SOCIAL CHANGE AGENCY 横山北斗 氏 （2）講義②「社会福祉を軸に一般質問をするコツ」 明治大学専門職大学院ガバナ会研究科 大山典宏 氏 講義③「社会保障制度と質問のポイント」 深谷市議会議員 今井慶一郎 氏
3. 参考事例	（1）講義①「ゲームで理解する制度の仕組み」 ①社会保障制度の体系 ア）社会保険 医療保険／年金保険／失業保険／労災保険 イ）国家扶助 生活保護 ウ）公衆衛生 環境衛生／伝染病予防 エ）社会福祉 障害者福祉／児童・家族福祉／老人福祉 ②社会保障の日本での定義 社会保障とは、国民の生活の安定が損なわれた場合に、国民に健やかで安心できる生活を保障することを目的として、公的責任で生活を支える給付を行うものである。 ③社会保障教育を推進するにあたり厚生労働省が若い世代に伝えるべきポイント ○人生には怪我、病気、介護等、個々人では乗り切ることが困難であるが、誰もが直面する可能性のあるリスクが潜ん

でいる。

○これらのリスクに対して、国民全体で支え合う仕組みが社会保障制度。この仕組みに参加することで、実際にリスクに直面した人を支えるとともに、自分がリスクに直面したときには、自分自身を守ることにもなる。

○社会保障は国民が納める税や社会保険料で成り立っているが、我が国では所得が無かったり低い人に対して社会保険料を減免する仕組みを準備して、国民誰もがこの仕組みに参加できるようにしている。

○社会保障は、高齢になった時の給付だけではなく、若い時の病気や怪我の治療、障害者となった時の年金、更には子育て支援など生涯を通じた保障の仕組みである。

(2) 演習①「架空のキャラクターに起きるピンチを通して『社会保障制度』を学ぶ、社会保障ゲーム」

①キャラクター決定タイム

・困難に直面したキャラクターカードをランダムに引き、課題解決の対象となる当該人物を決定する。

②ピンチ決定タイム

・ピンチカードを1枚引いて、その人物の直面するリスクを決定する。

③キャラとピンチを眺めるタイム (3分)

・キャラクターとピンチカードから、当該人物の生活リスクを考える。

④付箋記入タイム (5分)

・起きたリスクに対して、どのような困難が現れるかを付箋に記入する。

⑤付箋を台紙に貼るタイム (10分)

・書いた付箋をグループで協議しながら、台紙に貼り付ける。

⑥アイテムカードチェックタイム

・カードに書かれた社会保障制度を確認する。

⑦アイテムカード選択タイム

・適用できる社会福祉制度を該当する付箋紙の上に重ねる。

⑧発表準備タイム

・発表者を決めて、発表の準備を行う。

⑨発表タイム

・選択された任意のキャラクターに対して、どのような社会福祉制度が適用できるかを発表する。

(3) 講義②「社会福祉を軸に一般質問をするコツ」

①質の高い質問とは？

ア) 住民の関心が高いテーマを選ぶ。

イ) 質問の意図や背景を明確にする。

ウ) 議会内外の動きと連動させる。

	<p>エ) 具体的な事例やデータを用いる。 オ) 問題提起だけでなく、解決策や提案も示す。</p> <p>(4) 講義③「社会保障制度と質問のポイント」 社会保障制度の質問のポイントというよりは、選挙時のアピールポイントのコツを中心に話がなされた。</p>
<p>4. 考 察</p>	<p>(1) 講義①「ゲームで理解する制度の仕組み」 自分自身が認識していない社会保障制度が多く存在し、住民も多様な社会保障制度の存在を認知していないと感じた。議員として、社会保障制度の仕組みやその種類について、広報活動を行う必要性を強く感じた。</p> <p>(2) 演習①「架空のキャラクターに起きるピンチを通して『社会保障制度』を学ぶ、社会保障ゲーム」 もはやゲームというレベルでは無かった。教育現場でも様々な家庭課題から「ケース会議」というものを行っていたが、ケース会議の議論をより有効化させるツールとしての活用が可能だと感じた。</p> <p>(3) 講義②「社会福祉を軸に一般質問をするコツ」 社会保障制度の充実や適用について、より実効的な一般質問を行う際の一助となった。</p> <p>(4) 講義③「社会保障制度と質問のポイント」 選挙の際に、具体的にどの様なことに取り組むのか？ポスターやリーフレットに記載する際の工夫や、アピールポイントの手法を学ぶことができた。</p>